

名教スタッフ版

よめよめグラフィック

名前

平野 貴義

★読んだ本について書いてみよう。

付日	2月
12日	

ページ数	190
ページ	

①本の題名

人生で大切なことは、すべて「書店」で買える。「20代で身につけたい本の読み方80」

②本の作者

千田 琢哉

③私のおすすめの本を、紹介します。

「未来は予習できる！」
「あなたの人生で、これから先に起こる未知の難題に対するすべてのヒントは、すでにどこかの誰かが、本に書いてくれていいます。」
これは、この本の帯に書かれていた言葉です。この言葉のインパクトと、本の題名に惹かれて、即購入して読み始めました。
内容は、読書の心得が80個も紹介されています。速読のよいうな読書のテクニックではなく、読書で得られる「仕事力」や「経済力」についての解説に加えて、本の「買い方・読み方」についても解説してあります。
その中から、心に響いたフレーズをいくつか紹介してみます。
「残業より読書をしたほうが給料は増える」
「本を読むから時間に余裕ができる」
「本を読んでから実践すると成功率が桁外れに高まる」
「エグゼクティブはベストセラーを読んでいる」
「本にかけたお金とその人の年収は比例する」
「本の買いすぎで貧乏になった人はいない」
「運命の本はつらいときにしか出逢えない」
「まえばぎの面白い本を選ぶ」
「内容よりカバーで決めてもいい」
「内容よりカバーで決めることで自分を変える方法、人生を豊かにする方法が具体的に書かれているため、分かりやすく読みやすいです。また、どれも、明日からでも実践可能な読書術とし

て、いろいろと試してみたくなる方法ばかりです。
ところで、みなさんは、普段からたくさんの本を読んでいますか？ 実は、この本の著者は、大学に入学するまでまったく本を読んだことがなく、漫画しか読んだことがありませんでした。ところが、ある日、漫画を読みふらりと立ち寄った書店で「中谷彰宏」さんの「昨日までの自分と別れを告げる」という本を間違っって手に取ってしまいました。その日を境に、著書は、本の虫へと大変貌します。そして、大学4年間で100万円分、1万冊以上の本を買うことになりました。
僕も子どもの頃、本をまったく読まませんでした。だから、小学生のときの読書感想文なんて地獄でした。あとがきをそのまま写して提出したり、映画になっているものを借りて観たり、絵本を題材にしたこともありました。とにかく、活字を読むのが嫌いでした。でも、いつの日からか、本の楽しさを知ってからというもの、少しずつ本を読むようになりました。もし、本を読むことが苦手という人がいたら、あせらず自分の好きなテーマの本を読むことから始めてみてはどうですか？ すると、いつか必ず運命の一冊に出会うときがくるはずですよ。そうになったら、きっと僕や筆者のように本の楽しさがわかるはずですよ。
この本には、たくさん共感できることや、たくさんのお気付きがあると思います。そして、誰もがきっと印象的な言葉に出会えると思います。

ぜひ、読んでみてください。